

指標の検討

1. 計画の進捗評価の考え方

指標の検討に当たり、指標による次期計画の進捗評価の考え方を整理した。

(1) 成果指標の設定

- ・各基本目標の取組みの進捗及び成果を測る指標を設定し、計画の進捗をわかりやすく示す。
- ・計画の評価対象とし、施策・事業の進め方や計画の見直しに活用する。

(2) 取組指標の設定

- ・各施策の取組状況を測る指標を設定し、取組みの進捗を可視化する。
- ・計画の評価対象とし、施策・事業の進め方や計画の見直しに活用する。

(3) モニタリング指標の設定

- ・(1)(2)以外で、進捗を測っていく指標を設定する。
- ・計画の評価対象としない。

2. 指標の評価

次期計画で採用する指標を選定するため、以下の手順で指標の評価を行った。

(1) 検討対象とする指標

以下の①～⑤に該当する指標から、検討対象を選定した。

- ①現行の豊島区環境基本計画の指標
- ②豊島区の上位計画及び関連計画で採用されている指標
- ③環境審議会委員からの意見として提案があった指標
- ④他自治体の環境基本計画で採用されている指標
- ⑤その他の指標（事務局提案等）

(2) 指標の評価

以下の評価基準に基づき、①～⑤の指標の適切性を評価した。⑤その他に採用可能な指標については、次期計画で取り組む事業を参考に新規指標を検討した。

基準	説明
妥当性	各指標カテゴリーの目標に対応する成果を適切に表現できる
安定性	外的事象・偶然的事象の影響が小さく、マネジメント可能である
客観性	指標の定義、測定方法等が厳密かつわかりやすく定義されている
公平性	背景情報の差異等が小さく、複数の対象を公平に比較することができる
測定容易性	測定・計算等のために過度な負担・コストがかからない

(3) 指標の抽出

評価に基づき、次期計画での採用が適切と考えられる指標を抽出した。

※詳細は別表「次期計画の指標一覧（案）」参照。